

感染症

検診や予防接種で感染を防ぎ健康を守ろう

目標

- 肝炎ウイルスやピロリ菌の感染検査を受ける。
- インフルエンザ、带状疱疹を予防する。



協会けんぽ広島支部マスコットキャラクター
健康 いろは & 健康 かえで

がん(肝がん・胃がん・子宮頸がん)

細菌やウイルスへの感染が最大の原因!

知らないうちに
感染しているかも!?

肝がん

主な原因
肝炎ウイルス

- 肝炎ウイルスに感染すると、慢性肝炎→肝硬変→肝がんへと進行するおそれがあります。
- 以前受けた医療行為などで、感染している可能性もあります。

早期発見で
治りやすい

胃がん

主な原因
ピロリ菌

- 胃がんの最大のリスクはピロリ菌感染で、中高年の感染率は非常に高いことがわかっています。
- ピロリ菌に感染すると、慢性胃炎→胃がんへと進行するおそれがあります。

感染症(インフルエンザ・带状疱疹)

予防接種を検討しよう!

全身の衰弱に
つながる

インフルエンザ

主な原因
インフルエンザウイルス

- 高齢者や乳幼児などの免疫力が低い人、持病のある人がかかると重症化しやすく、肺炎やインフルエンザ脳症などの重い合併症があらわれる場合があります。

日常生活に
大きく影響

带状疱疹

主な原因
水痘・带状疱疹ウイルス

- 80歳までに約3人に1人が経験する身近な病気です。
- 皮膚症状が消えたあとも痛み(带状疱疹後神経痛)が残り、日常生活に支障をきたすおそれがあります。

はじめよう!

肝炎ウイルス検査を受ける

肝炎ウイルスに感染すると、自覚症状がほとんどないまま、病気が進行していきます。早期発見・早期治療につなげるために、ぜひ一度検査を受けましょう。協会けんぽの生活習慣病予防健診の一般健診に合わせて、検査を受けることができます。

ピロリ菌検査を受ける

胃の不快感がくり返し起こる場合、ピロリ菌がその原因かもしれません。専門医に相談して、ピロリ菌検査を受けましょう。ピロリ菌に感染している場合は、除菌治療を検討しましょう。

女性は子宮頸がん検診も受けて!

子宮頸がんは、検診によって、正常細胞ががん細胞になる前の早期の状態で見えるがんです。子宮頸がんは20歳代から増えはじめます。定期的に検診を受けましょう。



インフルエンザワクチンを受ける
(毎年接種)

インフルエンザの発症や重症化を防ぎます。

带状疱疹ワクチン
(50歳以上の人に1~2回接種)

带状疱疹の発症を防ぎます。

一般的な接種費用は、生ワクチンで1回1万円程度、不活化ワクチンで1回2万円程度(2回接種が必要)です。希望する場合は、医師に相談しましょう。